



▲「竹馬作り体験」で竹の切り方を教える愛南グリーン・ツーリズム推進協議会の会員(右)

昨年が続いて2回目の開催となったこの日は、地元の園児から大人まで約60人が参加し、御荘湾で養殖された真珠を用いてストラップなどのアクセサリを作る体験や、のこぎりや竹を切つてひも付きの竹馬を作る体験、松ぼっくりや魚のうろこを材料にしたクリスマスリース作

り体験などが実施されました。家族と一緒に訪れて竹馬作りに挑戦した平城小4年生の山田杜和とわさんは、「竹を切るのは初めてで難しかったけど、やり方を教えてもらってだんだんと慣れてきて、最後は良い作品ができた」と楽しんだ様子でした。

11/7

竹馬作りに野菜釣り  
普段できない体験活動を満喫



愛媛CATV  
動画



▲ナスやタマネギ、ブロッコリーなど愛南町産の野菜が入った袋を釣り上げる「野菜釣り体験」



▲松ぼっくりや魚のうろこなどの材料を用いてクリスマスリースを作るイベント参加者

り体験などが実施されました。家族と一緒に訪れて竹馬作りに挑戦した平城小4年生の山田杜和とわさんは、「竹を切るのは初めてで難しかったけど、やり方を教えてもらってだんだんと慣れてきて、最後は良い作品ができた」と楽しんだ様子でした。

11/9 愛南町と株式会社レクザムとの「災害時における協力に関する協定」の締結式



愛媛CATV  
動画



▲協定書を持つ清水雅文町長(左)と住田博幸取締役副社長

役場本庁町長室で、愛南町と株式会社レクザムによる「災害時における協力に関する協定」の締結式が行われました。

協定の内容は、地震や津波、風水害などの災害の発生または発生する恐れがある場合に、町が円滑に応急対策業務の遂行や災害からの早期復旧を図るため、同社が町内に所有する施設を救援物資等の一時集積場所や避難者の収容などに利用できることが定められています。



▲協定書に署名をする清水町長(左)と住田副社長

締結式では、清水まさみ雅文町長が「地震が起きた際には、町民のために貴社の広大な敷地と建物を利用させていただきたい」とあいさつしました。その後、株式会社レクザムの住田ひろゆき博幸取締役副社長と清水町長が協定書に署名しました。

住田副社長は、「災害がないことが一番良いことだが、有事の際は、愛南工場を活用していただきたい」と話しました。

11/  
10

## 池田一成さんが優等賞 次席と一等賞を受賞

西予市野村畜産総合振興センターで「令和2年度愛媛県総合畜産共進会」が開催されました。

総合畜産共進会は、家畜の改良と飼養技術を通じ、健全な畜産振興を目的として行われています。

今回、広見地区で畜産業を営む池田一成さんが雌子牛の部に出品した「すまいる」が経産牛の部で優等賞次席、「はるふく」が未経産牛2区の部で一等賞に選ばれて優秀な成績を残されました。



▲経産牛の部で優等賞次席を受賞した「すまいる」と池田一成さん

11/  
12

## 中学生が自然災害について学ぶ防災学習会

地震や風水災害などの自然災害について学んでもらい、防災意識を高めてもらおうと、防災学習(愛南町防災教育推進懇談会主催)が内海中学校で行われ、1年生6人が参加しました。

学習会では、災害時の道路の役割などについて学んだ後、工事現場に移動し、建設作業を体験しました。

参加した生徒は、「今日、習ったことを生かして家族と避難経路を確認したい」と話しました。



▲作業員からバックホウの運転の仕方を教わる生徒

11/  
18

## みんな元気にプレーしたグラウンドゴルフ

南レク御荘公園多目的広場で、愛南町老人クラブ連合会による「第17回町老連グラウンドゴルフ大会」が行われました。

この大会は、高齢者の健康増進と競技を通じた交流を目的として毎年1回開催されています。

今大会は新型コロナウイルス感染症対策を徹底した上で実施されました。晴天の下に115人が参加して個人戦で競い、好プレーに対しては歓声が上がっていました。



▲左から鱒福恵(準優勝)さん、大本正三さん(優勝)、埜下洋次郎さん(第3位)

11/  
20

## 全国大会を前に宇和島東高の宮岡さん来庁

宇和島東高校陸上競技部に所属する3年生の宮岡幸大さん(一本松中出身)が役場本庁を訪れ、同校が県代表として5年ぶりに出場する「男子第71回全国高等学校駅伝競走大会」への意気込みを清水雅文町長に報告しました。

学校長や陸上競技部顧問と共に来庁した宮岡さんは、「今大会を高校3年間の集大成として、最後に良い形で終われるようにしっかりと全国の上位選手に食らいついていきたい」と決意表明しました。



▲全国高校駅伝への意気込みを清水町長に報告した宮岡さん(右)



愛媛CATV  
動画



11/22 指定魚種を釣り上げてビンゴ完成 家族や友人らで釣りを満喫 「あいなんファミリー釣り大会 2020」



愛媛CATV  
動画

家族やグループで釣りを楽しんでもらうことを目的に、船越埋立地で「あいなんファミリー釣り大会2020 ビンゴdeフィッシング」(愛南町観光協会主催)が開催され、町内外から9組30人が参加しました。

例年は5月の大型連休中に開催されていますが、今年は新型コロナウイルス感染拡大の影響で11月に順延されました。大会ゲストとして昨年に続きプロアングラーの折本隆由<sup>たかよし</sup>さんが参加したほか、釣り好きインスタグラマーの淵上万莉<sup>まなり</sup>さんもテレビ番組の収録で初参加するなど、会場を盛り上げました。

今大会からルールが変更され、参加者は大会当日に配布されたビンゴカードを基に、指定された魚種を多く釣り上げることでビンゴの完成を目指す方式が取られました。この日は晴天に恵まれて絶好の釣り日和となり、カサゴやハタ、グレ、アジなどが釣り上げられると参加者から歓声<sup>かんせい</sup>が上がりました。

釣りが好きで家族と参加したという平城小3年生の兵頭悠斗<sup>ゆうと</sup>さんは、「カサゴを釣った時に引っ掛かったような感じで手応えがあった。楽しかった」と話し、釣りを楽しんでいました。



▲テレビ番組の収録で参加した淵上万莉さん(右)と大会参加者



▲聖火が灯ったランタンを撮影する来場者

会場内では、新型コロナウイルス感染拡大防止対策が施され、会場の外では、オリンピックトーチの展示などがあり、来場者は楽しんでいました。

愛南町では、23日(月)に御荘B&G海洋センターで開催され、来場者約500人が聖火を一目見ようと足を運びました。

愛媛県内7市町で11月20日(金)から5日間かけて、「東京2020オリンピック聖火」の展示が行われました。

「東京2020オリンピック聖火」の展示

11/23



愛媛CATV  
動画